

～顧問の技術相談～

春の家庭園芸



新緑の季節になると、「我が家にも庭木を植えたい」と考える人も多くなります。今回は最近人気が高まり、植木セリ市などで最も取り扱い量が多いカンキツ類の相談に答えましょう。



人気のカンキツ類

◆庭木の流行もさまざま

庭木というと昔は、マツ、キャブ、イヌマキ、イヌツゲなど常緑樹の仕立てものを中心に植えられていました。最近ではこれらの樹種に加え、雑木として扱われる日本各地に自生している野生(常緑、落葉樹)の種類で自然樹形のものや、「コラア」と呼ばれる外国産の針葉樹、国内外で育種された多くの園芸品種、狭い庭の植栽に向いている常性の樹種、枝が下垂する枝垂れ性樹種、生育が非常に遅い矮性種に加え、葉の色が楽しめるカラープランツ類などさまざまな種類が流通し、園芸店や量販店で販売されています。



根を包むのが地中ポット(ルートバッグ)

また、カキ、ブドウ、モモ、サクランボ、リンゴ、イチジク、ブルーベリー、キイチゴ類、カンキツ類など果樹類は、庭で育てて実をならせそれが食べられるという、これまでなかった家族で楽しめる庭木として人気があります。



◆利点の多いカンキツ類

なかでもカンキツ類は、ほかの果樹類と異なり病害や虫に強く、木が大きくなりやすく、手入れが難しくなくなど、庭木としての利点が多いことから人気が高い品目です。

カンキツ類といっても温州ミカン、夏ミカン、キンカン、スタチ、カボス、ユス、ハナユ、オレンジ系などの種類や品種があります。ちなみに、JASがみ緑化流通センター植木セリ市で扱うカンキツ類は73種類にもおよび、年間取り扱い額としてもトップにあります。

そこで、今回はカンキツ類で多かった相談の内容と、その原因や解決の方法について解説します。

まり、水分の吸収力が衰えてきます。

そのため、冬はミカン類の木は水分不足になりやすく、水分不足になると果実に含まれる水分を横取りするようになります。そこで水分のなくなったスカスカの果実になってしまいます。

対策…根の活動を少しでも助けるように、地温を高くするための手当をします。十分な敷葉や寒風があたりないように黒寒冷紗などを株全体にかけ、無駄な水分の蒸散を抑える工夫をしてあげるとよいでしょう。また、収穫を3～4月まで待つことによっても防げます。

なお、この症状は、晩柑類でも見られる現象です。

剪定や植え替えなどについては、別の機会にお話しします。

カンキツQ&A

温州ミカンに実がつかない。

Q 庭植えのミカンの木を育てています。昨年は実がたくさんあったのですが、今年は5月になっても花が咲かないのはなぜでしょうか。

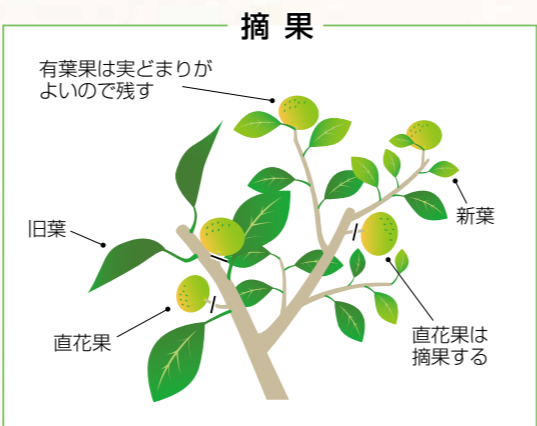
A 原因…昨年実をつけすぎたためと思われます。前の年から翌年の実をつける準備が始まっているので、実をつけすぎると栄養が不足し、翌年は結果しにくくなります。これを隔年結果と呼びます。力キなどでも見られる現象です。

対策…摘蕾・摘果・整枝・剪定などを適正に行い、早めに収穫するなどの方法で隔年結果を防ぐことができます。

摘蕾は蕾が白くふくらんだときが適期です。適切な結果数の2～3割増しくらいまで摘蕾します。

摘果は自然落果の終わったころ行いますが、早生種では7月中旬、普通種は7月下旬ごろが適期になります。果実1個につき20～30枚の葉を残すのが目安です。また、直花果(前年の枝に直接ついた実)よりも、実止まりのよい有葉果(葉を5～6枚以上つけた枝についた実)を残すようにします。(＝下図)

結果が少なかった年は、夏や秋に枝が伸びます。これらを10月初めに、たくさん発生した場合は半分、少ない場合は全部を春枝まで切り替えておきます。こうす



摘果

有葉果は実どまりがよいので残す
新葉
直花果は摘果する
旧葉
直花果

れば、春に新梢がよく伸びて葉数が多くなり、それに摘蕾、摘果を行えば、隔年結果防止効果があります。

ミカンの木が布のような鉢に入っていました。

Q 実のついたミカンが布のような鉢に入っていました。地植えするときはこれをとって植えたほうがよいですか。

A この鉢は地中ポット、あるいはルートバッグといえます。かつて苗木を出荷する際は根巻きという技術で根をしっかり保護していました。この方法は高等な技術と労力がかかり大変だということで、不織布を使った新しい製品が開発されました。

地中ポットは空気や水分の流通を妨げないよう、時間が経過すれば根もポットを

貫通することができるので、植木生産者は地中ポットを使うようになりました。

カンキツ苗では一年生苗を除き、実の付いている苗は大部分が地中ポットで栽培され流通しています。

地植えの方法…空気や水分の流通ができるほか根もポットを貫通できるので、基本的にはそのまま植え込みできます。

植え込む場合は深植えせず、ポットの2割くらいが地表に出るようにします。植え込んだ後はポットの周りをやや高くして水鉢を作り、たっぷり灌水します。支柱は必ず立てます。

灌水…灌水は時々やる程度でよいですが、夏場に乾燥が続く場合には、水鉢にたっぷり灌水することが大切です。2年目以降は活着していますが、ひどく乾燥するときは、ほかのものと同じように灌水することが大切です。カンキツ類は常緑樹なので冬場の乾燥にも気をつけま

夏ミカンの実がスカスカで味がよくありません。

Q 春になって夏ミカンを収穫したら実が軽くなっていて、皮をむいたら果肉がスカスカになっていました。どうしてでしょうか。

A 原因…「す上がり」と呼ばれる現象です。夏ミカンの実が熟するのは3～4月ですから、木は実をつけたまま冬越しすることになります。冬でも葉をつけ、蒸散も盛んに行っています。しかし、地温が下がると根の動きが弱



JAさがみ技術顧問 熊坂 一夫